

2014年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	設備設計演習						
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	3年次後期		
必修・選択の別	必須科目／(建築工学コース) 選択科目／(建築コース)						
担当者	齋藤健二						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築設備設計図の基本的事項を理解し、説明できる。</li> <li>・建築設備と建築躯体との関連、納まりについて理解し、説明できる。</li> <li>・機器容量、設備容量の計算ができる。</li> <li>・設備設計図を作成することにより、意図している建築設備内容を表現することができる。</li> </ul>						
日程と内容	9月15日 9月22日 9月29日 10月6日 10月20日 10月27日 11月10日 11月17日 11月24日 12月1日 12月8日 12月16日 12月22日 12月23日 1月19日	第1回:導入講義:授業の進め方と概要の説明、成績評価法 第2回:建築設備図作成の基礎、建築躯体図の裏トレース 第3回:建築躯体図の裏トレース 第4回:給水配管図、排水配管図の作成 第5回:便所詳細図の作成 第6回:給水管径、排水管径の決め方 第7回:空調負荷計算の仕方 第8回:空調負荷計算書の作成 第9回:空調機器の選定 第10回:空調機器配置図の作成 第11回:空調機器配置図の作成 第12回:空調配管図の作成、換気図の作成 第13回:機器表の作成 第14回:省エネルギーについて 第15回:まとめ					
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート			プレゼンテーション			
	課題 演習	100%		計		100%	
授業到達目標の達成度	負荷計算書については全員が完成できたが作成図面については表現力が不足しており、目標達成度は今一步であった。						
反省点	学生からの質問がほとんど無いので理解したと思っていたが、図面の作成時には理解していないことが多かった。						
来年度の計画	参考図面を多く見せるなどして図面作製に重点を置いた指導をしていきたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	全科目の平均評価と比較して低い評価となった。学生も建築設備に対して興味を持つとともに、授業中のスマホ操作や途中退席などをしないなど真摯な受講態度を守って欲しい。						
履修登録者数	30名	定期試験 受験者数		合格者数	29名	合格率	97%